

医療・バイオ

医療・介護 改革の主役たち

に役立ててもらおう。
 「三百万人あまりいるとみられる色覚障害者の九九％は赤と緑を見分けにくい」(伊藤社長)。
 開発した眼鏡型の色弱模
 擬フィルター「バリアン
 トール」(三万四千五百
 円)と、ルーペ型の「パ
 ンケーキ」(一万九千五
 百円)は、赤と緑が見分
 けにくくなるよう特殊な
 加工を施してある。
 レンズには無機酸化物
 の薄膜を特殊技術で三十
 数層蒸着させた。薄膜は
 それぞれ赤と緑の中でも
 特定の波長の光を通さな
 い性質を持つ。重ねるこ
 とで赤と緑の全体を見え
 にくくした一方、白色光
 を透過しやすく工夫し、
 暗くなるのは防いだ。
 このレンズを使えば、
 も受けている。

色覚障害、模擬製品で実感

二〇〇六年末のバリア
 フリー新法施行で、公共
 施設の整備の望ましいあ
 り方を示したガイドライ
 ンにも、色覚障害者に配
 慮するよう明記された。
 だが、対応は全般に遅れ
 ている。中内教授は「色
 覚障害者が困っている例
 は多い」と指摘する。
 例えば、携帯電話の充
 電が完了した際、表示灯
 の色が赤から緑に変わっ
 てもわかりにくい。黒地
 に赤い文字が浮かび上が
 る券売機、特別を助けて
 いた。
 伊藤光学はこれまで、
 色弱模擬製品を地方自治
 体や家電・事務機器メー
 ーカー、出版社、標識の製
 造業者などに一千本あま
 り販売してきた。出版業
 界では、小学生の教科書
 に掲載するカラー地図
 で、境界線の色を改善し
 た例があるという。
 リコーは多機能複写機
 を進める考えだ。(豊橋支局長 佐藤敦)



伊藤寛社長

《会社概要》

- ▽本社所在地 愛知県蒲郡市宮成町3-19
- ▽電話 0533-69-3311
- ▽事業内容 眼鏡レンズ・光学薄膜製造

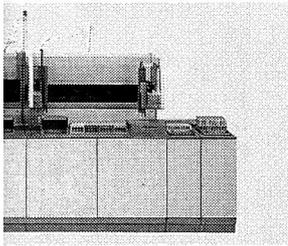
眼鏡レンズ中堅の伊藤
 光学工業(愛知県蒲郡市、
 伊藤寛社長)が豊橋技術
 科学大学の中内茂樹教授
 と連携し、色覚に障害が
 ある人への理解を促す啓
 蒙(けいもう)活動に取
 り組んでいる。色の見分
 けにくさを実感できる特
 殊な眼鏡とルーペを共同
 で開発。企業や地方自治
 体に販売し、製品開発や
 標識デザインの改良など

伊藤光学工業(愛知県)

検査装置、4機種に集約

コスト抑え納期早く

医療機器メーカーのア
 ロカは、医療機関や臨床
 検査会社が病気の診断な
 どに使う検体検査装置の
 事業をてこ入れする。顧
 客ごとの仕様で設計して
 いた手法を改め、受注実
 績が多い四機種ほどに集

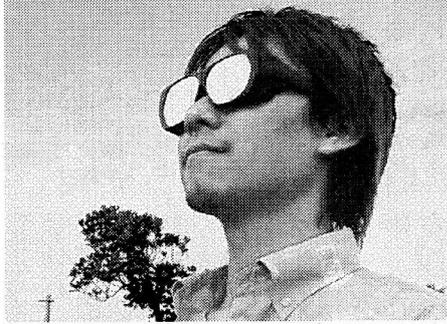


臨床検査で、試薬検査
 前に血液などの検体を処
 理する装置の設計を見直
 す。各処理段階の機構の
 モジュール化を進め、設
 計や生産の効率を改善。
 機構の組み合わせも受注
 実績が高い約四種類にす

検体の移し替えなど、装
 置の動きを制御する機構
 やプログラムといった要
 素技術の開発も始める。
 二一三年後には、より小
 型で処理速度が高い新製
 品の発売も目指す。二〇
 一一年三月期の事業売上
 高を〇七年三月期の実績
 に比べて約二割多い七十
 八億円に引き上げる。
 臨床検査受託市場は診
 療報酬の引き下げも影響
 装置は、遠心分離や開
 栓、ラベル張り付けなど
 検査員の作業を自動に切

日本ジェネリック製薬 協会(東京・中央)の沢
 ジェネリック製薬協会会長見通し
 沢井製薬は「後発薬事
 業で世界三十位。国内で

市場拡大の機運も高まっ
 ている。
 アロカは前処理の装置
 薬を急ぐ。
 に力を入れており、安定
 して受注できる体制の構
 築を急ぐ。
 ナン
 タン
 ベン
 ジャ
 ロシユ・ダイアが吸収
 病理・血液検査、補完見込む
 スイス系検査薬のロシ
 ユ・ダイアグノスティッ
 クス(東京・港、小川渉
 社長)は三日、二〇〇九
 を吸収合併すると発表し
 た。ベンタナは病変の組
 織を調べる病理検査用の
 装置や試薬を手がけ、血
 液検査に強みを持つロシ



赤と緑が見分けにくい眼鏡を開発した
 急の出発時間
 を赤字で示す
 時刻表、路線
 ごとに色分け
 した地下鉄な
 どの路線図、
 フルカラーの
 教科書――。に
 交差点の信
 号機も発光ダ
 イオード(L
 赤と緑が見分けにくい眼鏡を開発した
 急の出発時間
 を赤字で示す
 時刻表、路線
 ごとに色分け
 した地下鉄な
 どの路線図、
 フルカラーの
 教科書――。に
 交差点の信
 号機も発光ダ
 イオード(L